

# 病院だより

助産師外来のご案内

助産師外来担当一同

加齢と眼の病気 その3「ドライアイ」

鈴木 高佳

施設用度課のご紹介

安田 達典

## 国際親善総合病院

〒245-0006 横浜市泉区西が岡1-28-1  
TEL 045(813)0221 (代表)  
FAX 045(813)7419 (庶務課)

URL <http://shinzen.jp>

# 病院だより

## ♥ 助産師外来のご案内 ♥

平成20年11月より助産師による妊婦健診「助産師外来」を開設いたしました。

皆さんのマタニティーライフが充実したものとなるよう、新しいご家族を迎える準備をスタッフ一同でお手伝いさせていただきます。



超音波検査の様子

### ♥ 助産師外来を受診できる方は・・・

- ◆当院で妊婦健診を受けている方で、合併症がなく医師の診察にて正常に経過していると診断された方に限ります。

### ♥ 助産師外来とは・・・

#### ◆ 助産師が行う妊婦健診

妊娠期から分娩、産後までの各期間に必要な保健指導を行います。  
また、赤ちゃんが元気に育っているかを超音波でみています。

#### ◆ 医師との連携

定期的に医師の健診もあり、医師と連携しながら安心して受けていただくことができます。

#### ◆ 妊婦さんをサポート

皆さんのが気になる体重や食事の内容など日常生活の過ごし方やお産の経過や入院のタイミングについての相談、その他、母乳や新生児の特徴など赤ちゃんの人形を使って、育児がイメージ出来るような説明等を行い、予約制で1人30分の時間を設け、妊婦さん自身が「こんなお産がしたい」と考えられるようバースプランと一緒に考えていきます。

診察日時（完全予約制）	月・水曜日	： 14:00～17:00
	金曜日	： 9:00～12:00

今後は時間枠を拡大していく予定ですので、詳細は産婦人科外来までお問い合わせ下さい。

2C病棟 助産師外来担当一同

# 健康懇話会

## 加齢と眼の病気 その3 「ドライアイ」

### 【はじめに】

「加齢と眼の病気」も3回目となりました。1回目では加齢黄斑変性の最新の治療について、2回目では多焦点眼内レンズを用いた白内障と老眼の治療についてお話をいたしました。今回は少し地味な話題かも知れませんが、知られているようで意外と知らない眼の病気「ドライアイ」についてお話をしたいと思います。

### 【眼が乾くだけじゃない！】

ドライアイはその名が示す通り「dry 乾く」「eye 目」ということで眼の表面の乾燥に伴って痛みや異物感、更には角膜表面の傷、眼精疲労（疲れ目）などを引き起こす目の病気です。

現代ではオフィスでのコンピュータ作業の増加やエアコンの急速な普及により若い人でもドライアイの人は増えていると言われていますが、私達眼科医が日頃外来で接するドライアイの患者さんは、やはり中高年の方が多く、加齢に伴って症状が悪化していく傾向にあります。

一般的なイメージとしても、また我々眼科の中でもドライアイというと病気の範疇に入らないような軽度の目の不快感という印象で、長年あまり病気の起こるメカニズムやその治療法についてもほとんど研究されてこなかった分野です。

しかし、近年の研究ではわが国のドライアイ患者数は約800万人とも言われ、しかも目が乾くのみならず、実は視機能の低下を伴うことも多く、職場や家庭など社会全体の生産性を低下させることによる経済的損失ということも問題視されてきています。

特に目の疲れ（眼精疲労）とドライアイが結びついて重症化すると目が開けていられないほどの苦しみや頭痛を伴ったり、仕事や家事が全く手につかない、吐き気を催すなどとても耐え難い状態になってしまうこともあります。

涙は目の表面を潤すことにより眼球を保護しているのみならず、近年では見え方にも深く関係することが様々な科学的根拠から明らかになっています。眼球表面に正常な形で涙の層が存在することにより、眼をカメラやレンズと同じように光学的な機能を評価した場合の優れた性能が確保されているのです。

### 【ドライアイかな？と思ったら】

ちょうど今は季節が冬ですので、空気も乾燥しており、ドライアイの症状が自覚されやすい時期です。

ドライアイは、必ずしも涙の量が減ることによって発症するとは限らず、まぶたにあって眼の表面に良質な脂分を供給する腺（マイボーム腺）の加齢による機能障害や、神経支配の不全、いわゆる逆（さか）まづけや眼瞼下垂などの加齢性のまぶた周辺の変化、シェーグレン症候群などの全身の分泌腺に炎症による機能不全がおこる病気など、実は様々な要素が関係しています。

目の痛みや不快感を自覚している方は、一度眼科外来を受診していただくことをお勧めします。重症度によって、目薬のみならず患者さんの痛み苦しみを軽減するための様々な治療や対処方法がありますので是非ご相談ください。

眼科部長 鈴木 高佳

### ご案内

このテーマは

平成21年3月13日(金) 15:00~約1時間の健康懇話会にて  
講演予定です。

(入場無料、予約不要、どなたでもご自由にご参加ください。)

# 施設用度課の仕事内容を紹介します。

広辞苑から施設・用度を調べてみると「施設は、こしらえたもの」「用度は、必要な用品をととのえること」です。お分かりですね、施設用度課は、病院建物の維持管理とベッドや医療機器や日常品を購入し、病院の診療機能サービスが安全に衛生的に快適に提供できる環境づくりが役割です。

そのなかで、今回は地球規模で温暖化の環境問題のエネルギーにスポットをあて、病院の省エネの取り組みについて紹介をいたします。

病院は、診療環境を確保するために多量のエネルギーを使用しております。

一方、京都議定書の発効に象徴されるように地球温暖化抑制が叫ばれるなかで、エネルギー起源のCO<sub>2</sub>削減を目的として省エネルギー対策が重要課題となっております。病院においても診療環境確保を前提として省エネを推進していかなければなりません。

病院の部門ごとのエネルギー消費の特徴を表にまとめました。病棟、外来、検査部門で全体の75%を消費しています。

部 門	面積比率	稼働時間	エネルギー密度	エネルギー消費量比率
病 棟	35%	24 h	0.98	34%
外 来	13%	9 h	0.87	11%
中央診療部門	22%	10 h	1.33	29%
供 給 部 門	8%	10 h	1.00	8%
管 理 部 門	10%	9 h	0.81	8%
厨 房	2%	18 h	2.28	5%
共 有	10%	24 h	0.45	5%

では、次に具体的な取り組みを紹介します。

部 門	取 り 組 み
病 棟	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 冷やし過ぎ、暖め過ぎに注意</li> <li>② 外の空気がすがすがしい時は、できるだけ空調を停止</li> <li>③ 流し洗いをするところは、節水器具を使用</li> <li>④ シャワーは温度調整の容易な器具を使用</li> </ul>
外 来	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 出入り口に風徐室を設置</li> <li>② 空調は、スケジュール運転できめこまかく運転</li> <li>③ 照明は、診療時間に応じて点灯</li> </ul>
中央診療部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 夜間、休日の医療機器は可能な限り電源を停止</li> </ul>
全 体	<ul style="list-style-type: none"> <li>① OA機器の管理を徹底。昼休みや長時間離席時には電源OFF</li> <li>② 不使用時の会議室等は空調停止や消灯の徹底</li> <li>③ 空調機設備のエアフィルターの清掃など管理</li> </ul>

ぜひ、病院の省エネの推進にご協力をお願いいたします。

施設用度課係長 安田 達典

